

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和7年度

施策コード	812	施策	公共施設の最適化
管理事業	財産管理事業	所管部局	都市計画部

1	所管 室課	資産経営室	事業名	公有財産管理事業		
事業概要						
公有財産管理						
活動実績		年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
資産経営室で所管する普通財産の売払件数・面積及び有償貸付件数 ・普通財産売払件数・面積 令和5年度・・・6件、320.24㎡ 令和6年度・・・11件、965.64㎡ 令和7年度・・・8件、336.34㎡ ・普通財産有償貸付件数 令和5年度・・・23件 令和6年度・・・23件 令和7年度・・・22件		決算額 (千円)	118,349	133,450	29,538	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
		一般財源 の 比率(%)	47.2	21.5	98.1	■ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ■ 持続可能性
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容
		「吹田市公有地利活用の考え方」に基づき、普通財産の利活用を進めていくにあたり、普通財産に係る情報を整理し庁内で情報共有を図り、効率的に有効活用が出来るように取り組んでいく。 また、担当職員の専門的な知識・ノウハウを組織的に継承することが必要である。				継続

	所管 室課		事業名				
事業概要							
活動実績			年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
			決算額 (千円)				※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)				☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			今後の実施計画 の方向性・内容	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度	令和7年度
--------	-------

施策コード	812	施策	公共施設の最適化
管理事業	資産経営事業	所管部局	都市計画部

1	所管 室課	資産経営室	事業名	資産経営事業			
事業概要							
市有建築施設管理、公共施設最適化推進、固定資産台帳管理							
活動実績			年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
(1) 市有建築施設管理事業 技術職員の恒常的な時間外勤務の削減を図るため、技術職員の担当業務のうち、技能的に高度な専門知識を必要としない、設計図面をCADによりデータ化する業務をCADオペレーターが担うことにより、業務の効率化を図った。 令和5年度・・・勤務時間 1,581時間 令和6年度・・・勤務時間 1,633時間 令和7年度・・・勤務時間 1,590時間 (2) 公共施設最適化推進事業 ・令和2年度に策定した吹田市公共施設（一般建築物）個別施設計画について、令和7年度に改訂を行った。 ・吹田市公共施設総合管理計画を通して情報を管理するとともに、吹田市公共施設（一般建築物）個別施設計画に基づき、対策の進捗管理や実行支援を行った。 (3) 固定資産台帳管理事業 ・本市が所有する土地面積 行政財産 令和5年度・・・3,355,300.29㎡ 令和6年度・・・3,363,397.49㎡ 令和7年度・・・3,359,712.02㎡ 普通財産 令和5年度・・・140,144.61㎡ 令和6年度・・・126,324.51㎡ 令和7年度・・・128,816.30㎡			決算額 (千円)	7,807	10,166	10,117	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	99.8	99.8	99.8	■ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容
吹田市公共施設（一般建築物）個別施設計画に基づき、施設の老朽化対策や維持保全を進めるにあたり、膨大となる設計業務の負担軽減を実施しつつ、計画的な公共施設の維持管理等が推進されるよう、継続的に取り組んでいく必要がある。							
公会計財務諸表の固定資産データについては、今後は事業評価及び公共施設最適化の判断指標として活用していく取組が必要である。				継続			

2	所管 室課	資産経営室	事業名	資産経営室庁舎管理事業			
事業概要							
資産経営室庁舎管理							
活動実績			年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
資産経営室庁舎管理に係る管理業務			決算額 (千円)	-	9, 847	9, 108	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
需用費	3, 443, 074円		一般財源 の 比率(%)	-	100. 0	100. 0	☐ 有効性
役務費	794, 693円						☐ 効率性
委託料	2, 101, 660円		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			☐ 公平性	
使用料及び賃借料	2, 763, 617円		施設の老朽化が進行しており、建物や 設備の状況把握に努めるとともに、必要 な修繕を行う必要がある。			■ 持続可能性	
負担金、補助及び交付金	4, 400円					今後の実施計画 の方向性・内容	
事業費合計	9, 107, 444円					継続	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名
資産経営室	土地開発基金繰出金事業		